



2023.10.13

園長だより NO95

3歳児の保育参観から

新型コロナウイルスの5類移行でこの時期の運動会も園により様々な取り組みが見られるようになりました。前回の園長だよりで今後の行事の在り方には大きく分類すると3つあるとお伝えしました。

- ①従前の内容、規模に戻す
- ②コロナ禍での内容を継続する
- ③コロナ禍での経験をもとに新たに子ども

を中心据えた取り組みを考えていく
おおぞら保育園では②の経験から③を考え工夫して取り組んでいく保育内容がいろいろな意味で整合性が取れているように思っています。

9月30日(土)3歳児の保育参観を行いました。保護者の皆様へは当日の感想などアンケートを依頼しました。詳細には触れませんが子どもの普段の姿、様子が伝わり、親子共々、楽しめたという感想が多数ありました。

従前なら3歳児も4.5歳児と一緒に運動会に参加していたのですがここ数年、幼児クラスの位置づけである3歳児は大きな単位での行事参加ではなく、まずは、ひとり、ひとりが楽しむことが基本ではないかと考えます。運動会ともなれば個々よりも集団での見方が先行されてしまいがちです。

まだまだ、個人差、月齢差があり言葉のやりとり、思考、運動機能にも差があります。情緒の

育ちにも違いがあり、極端に緊張したり、場に圧倒され身動きがとれない姿も過去の運動会で見られました。クラス単位での取り組みであればその子に寄り添う姿勢が大人にも大いに出てきます。時間を気にすることなく、徐々に緊張感がやわらぎ動きだしたくなる感情が芽生えてきます。

今回の参観ではなかなか動き出せない子や両親と離れられ子もいましたが時間の経過と共にそれぞれのペースで身体を動かして楽しんでいる様子が見られました。

もし、大きな単位の運動会であれば、そうはいかなかったでしょう。保育士は最大限、アプローチはするが子どもの内面の変化を引き出し、「ぼくもやれるよ ぼくなりやり方のできるよ(参加するよ)」とはいかなかったと思います。全体の進行に目を奪われ、連れ出し一緒に行う事や無理強いせず、その子の意思の尊重(場にいるまたは見学)した対応をとることでしょう。

今回の参観では参加者みんなが温かいまなざしを送り、その子のやり方で参加する時間を作り気持ちを変化させる間もできました。

参観の内容は親子での参加型で・体操をしたり・かけっこをしたり(いろいろなバージョン)・好きなあそび ばなな組オリジナル「だるまさん転んだ」をして最後にわらべ歌という流れです。1時間ほどの時間ですが常に動いているような印象を受けました。運動会とは本来なら一番、身体を動かす日にならなくてはなりません。通常の運動会は20分~30

分待機し出番が回ってくる。子どもからすれば一番身体を動かさない日になってしまいます。今回の保育参観では普段のまま、おおいに動けた(動いた)日になりました。

概念に縛られず考えること

ここからは3年前のたよりで取り上げたものをもう一度掲載します。(NO55より抜粋)
—ある園長のブログより—

浜松市にある保育園の園長ブログです。

運動会のお話、多くの園(保育園)で恒例に行っている行事についていつも不思議に思うことがある。それはコレが何の会かということ。文字通り考えれば運動する会なのだけれど意外とそうでもありません。



色々な園のソレを見たことはないけれども話に聞くスタンダードは1歳児くらいから全園児が参加

し午前中に実施するというもの、そうすると、たくさんの種目を短時間に詰め込むこととなり子ども達は運動するより遥かに長い時間待つて過ごすこととなります。ともすれば1年の園生活で最も運動量の少ない日。運動会なのに、いつもより運動しない会になってしまいます。それに、この行事の育ちの可視化、つまり保護者の方に子ども達の成長を見せる機会として位置付ける園が圧倒的に多く、それは保育者(保育士)が子どもを強く主導することを意味します。絶対に、そうなります。

もっと簡単に言えば運動会の練習に多くの時間を費やすということです。派手なダンスや統率のとれた太鼓、そして競争が日常の大半を占めるようになります。この時期に幼児クラスの担任の声がかれているのはその結晶です。

私たちが運動会に期待するのは友達と一緒にする運動が、少しでも楽しくなる機会となることです。運動会は目的ではなくきっかけであるべきだと考えています。だから対象を幼児だけとし、プログラムも親子で楽しむものや玉入れ等過度な運動を必要としないものを中心としているのです。

幼児期には競争心より育むべき感情があって、それが共同心であり協調性なのだと思えます。これらは成熟した社会的な感情では自然に育ちにくい、だからこそ運動会のテーマとする意義があるのです。

運動会は目的ではなくきっかけ、大切なのは翌日から子ども達が何かに関心を持ち、どのような活動をするかなのです。発達は日々連続しているのだから。(終)

それぞれの園、それぞれの保育者には様々な考えがあります。

子ども達にとって何が最善なのか？
運動会は何のために行われているのか？
運動会は誰のために行われているのか？
もう一度 向かい合い子どものため、楽しめるものにしてあげたい

(おおぞら保育園 園長 廣部信隆)